

2019年5月14日

 センコーグループホールディングス株式会社

2019年3月期

決算説明会



SENKO Group Holdings

# 第1部

## 2019年3月期 決算の概要について

# 1. 2019年3月期 業績の概況



(百万円, %)

	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率
売上高	492,127	—	529,609	—	37,481	7.6
営業利益	17,087	3.5	19,631	3.7	2,544	14.9
経常利益	17,316	3.5	19,876	3.8	2,559	14.8
親会社株主に 帰属する 当期純利益	9,503	1.9	11,681	2.2	2,177	22.9

前年同期比 375 億円増収 7.6%増

● 売上拡大効果	+	282 億円
● 料金改定	+	46 億円
● M & A 期間差 (安全輸送 他)	+	40 億円
● 新規連結効果 (ビーナス 他)	+	53 億円



+ 421 億円

● 自然災害影響	△	4 億円
● 既存物量増減	△	42 億円



△ 46 億円

+ 375 億円

### 3. 2019年3月期 事業・分野別売上高の概況

(億円, %)

	2018年3月期 (前期)	2019年3月期 (当期)	前年同期比		前年同期比 内訳			
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A 他	物量 増減他
流通ロジスティクス	1,905	2,083	178	9.3	156	20	35	△ 33
住宅物流	600	622	23	3.8	21	13		△ 11
ケミカル物流	678	738	61	8.9	47	11		3
その他物流	295	310	15	5.0	29	2		△ 16
物流事業	3,478	3,754	276	7.9	253	46	35	△ 58
商事・貿易事業	1,393	1,423	30	2.1	23		8	△ 1
その他事業	51	119	69	135.9	6		50	13
合計	4,921	5,296	375	7.6	282	46	93	△ 46

※上記に含む国際関係売上

国際関係売上	253	287	33	12.9
売上高構成比 (%)	5.2	5.4		

※非連結法人も含む国際関係売上

国際関係売上	303	367	63	20.9
--------	-----	-----	----	------

## 4. 2019年3月期 業績の概況【利益】

SENKO

前年同期比 経常利益 25.6 億円 増益 14.8% 増

● 売上拡大効果	+	29.3 億円
● 料金改定	+	45.7 億円
● コスト改善・生産性向上	+	2.8 億円
● M&A 期間差 (安全輸送 他)	+	1.4 億円
● 新規連結効果 (ビーナス 他)	+	4.3 億円
● 退職給付債務数理処理	+	8.0 億円



+ 91.5 億円

● 既存物量増減	△	11.9 億円
● 備車 (含む作業賃) コスト増加	△	30.0 億円
● 私募リート期間差影響	△	1.0 億円
● ベア影響	△	5.3 億円
● 燃料単価アップ	△	8.4 億円
● 自然災害影響	△	1.9 億円
● その他コスト増減	△	7.6 億円



△ 66.1 億円

● 営業外収支増減



+ 0.2 億円

● 経常利益



+ 25.6 億円

# 5. 2019年3月期 セグメント別業績の概要【対前期】 *SENKO*

(百万円, %)

売上高	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	(前期)		(当期)		増減額	増減率
物流事業	347,752		375,384		27,632	7.9
商事・貿易事業	139,317		142,294		2,977	2.1
その他事業	5,058		11,930		6,872	135.9
連結財務諸表計上額	492,127		529,609		37,481	7.6

(百万円, %)

営業利益	2018年3月期		2019年3月期		前年同期比	
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率
物流事業	13,708	3.9	16,210	4.3	2,502	18.3
商事・貿易事業	2,855	2.0	2,280	1.6	△ 575	△ 20.1
その他事業	895	17.7	1,679	14.1	784	87.6
調整額	△ 372	-	△ 538	-	△ 166	-
連結財務諸表計上額	17,087	3.5	19,631	3.7	2,544	14.9

## 6. 2019年3月期 業績の概況【対計画】



(百万円, %)

	2019年3月期		2019年3月期		計画比	
	計画	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	530,000	—	529,609	—	△ 391	△ 0.1
営業利益	19,300	3.6	19,631	3.7	331	1.7
経常利益	19,300	3.6	19,876	3.8	576	3.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	11,500	2.2	11,681	2.2	181	1.6



# 7. 2019年3月期末 貸借対照表

資産の部		
当期	増減	摘要
<b>流動資産合計</b>		
1,172.6	31.1	
現金及び預金	2.4	
受取手形及び営業未収入金	25.7	
たな卸資産	15.4	
その他	△ 12.3	
<b>固定資産合計</b>		
2,232.0	34.3	
<b>有形固定資産※</b>		
建物及び構築物	96.0	※主な設備投資 ●大阪南港センター ●福岡センター ●東富士PDセンター
機械装置及び運搬具	12.2	
建設仮勘定	△ 121.4	
その他	34.7	
無形固定資産	12.8	
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	△ 23.8	
退職給付に係る資産	△ 5.7	
差入保証金	11.5	
その他	18.1	
<b>繰延資産合計</b>		
0.3	△ 0.3	
<b>資産合計</b>		
3,404.9	65.2	

負債・純資産の部		
当期	増減	摘要
<b>流動負債合計</b>		
986.7	△ 73.8	
支払手形及び営業未払金	1.8	
電子記録債務	△ 1.4	
短期借入金	△ 77.7	
賞与引当金	6.3	
その他	△ 2.8	
<b>固定負債合計</b>		
1,149.3	50.6	
長期借入金	14.6	
リース債務	31.6	
その他	4.4	
<b>負債合計</b>		
2,136.0	△ 23.2	
<b>純資産合計</b>		
1,269.0	88.4	
資本金	265.3	
資本剰余金	298.4	1.1
利益剰余金	629.8	80.2
自己株式	△ 7.0	△ 1.1
非支配株主持分他	82.4	8.2
<b>負債及び純資産合計</b>		
3,404.9	65.2	

※自己資本比率  
(前期末) 33.7%  
(当期末) 35.0%

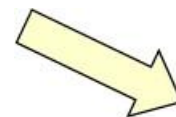
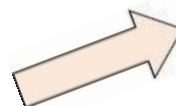
※有利子負債比率  
(前期末) 35.9%  
(当期末) 33.3%

※リートへの資産売却による有形固定資産減少額△79億円

<b>有利子負債</b>	
1,134.8	△ 63.6

(億円)

	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	245.7	270.2
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 370.2	△ 157.7
財務活動による キャッシュ・フロー	99.4	△ 132.2
現金及び現金同等物 の期末残高	238.0	228.0



### 当期の主な内容

税金等調整前当期純利益	189.0
減価償却費	143.3
売上債権の増加	△ 21.4
仕入債務の増加	8.7
未収消費税等の減少	14.4
法人税等の支払額 等	△ 76.5

有形固定資産の取得	△ 243.8
有形固定資産の売却	140.9
子会社・関係会社株式の取得 等	△ 26.8

借入金の減少	△ 74.9
リース債務の返済	△ 38.7
非支配株主からの払込収入	23.1
配当金の支払 等	△ 36.6

# 9. 2019年3月期に稼働した主な物流センター

	名称	所在地	稼働年月	延床面積	事業会社
国内	1 大阪支店南港センター（冷凍・冷蔵）	大阪市	2018年 4月	20,400 m <sup>2</sup> (6,200 坪)	(株)ランテック
	2 東富士PDセンター	静岡県 富士市	2018年 4月	16,400 m <sup>2</sup> (5,000 坪)	センコー(株)
	3 福岡支店センター増床（冷凍・冷蔵）	福岡県 久山町	2018年 4月	12,400 m <sup>2</sup> (3,750 坪)	(株)ランテック
	4 流山ロジスティクスセンター ※	千葉県 流山市	2018年 5月	30,600 m <sup>2</sup> (9,200 坪)	センコー(株)
	5 古河PDセンター ※	茨城県 古河市	2018年 8月	31,300 m <sup>2</sup> (9,500 坪)	センコー(株)
	6,7 加須PDセンター（2期計画） ：3温度帯（常温・冷凍・冷蔵）	埼玉県 加須市	2018年 8月	51,500 m <sup>2</sup> (15,600 坪)	センコー(株)、(株)ランテック
	8 湖東倉庫	滋賀県 東近江市	2018年 11月	3,500 m <sup>2</sup> (1,080 坪)	センコー(株)
	9 京浜支店 かわさきFAZセンター ※ （冷凍・冷蔵）	川崎市	2018年 12月	17,500 m <sup>2</sup> (5,300 坪)	(株)ランテック
	<b>国内計</b>				<b>183,600 m<sup>2</sup></b> (55,630 坪)
海外	10 青浦物流センター ※	中国 上海市	2018年 5月	18,900 m <sup>2</sup> (5,700 坪)	上海扇拡国際 貨運有限公司
	11 北京物流センター（冷凍・冷蔵） ※	中国 北京市	2018年 11月	9,400 m <sup>2</sup> (2,800 坪)	中外運扇拡国際冷鏈 物流（上海）有限公司
	12 スカイリフト新倉庫 ※	シンガポール ジャランプロ	2018年 12月	7,100 m <sup>2</sup> (2,200 坪)	Skylift Districentre (Pte) Ltd.
<b>海外計</b>				<b>35,400 m<sup>2</sup></b> (10,700 坪)	
<b>合計</b>				<b>219,000 m<sup>2</sup></b> (66,330 坪)	

※賃借物件

## 第2部

# 2020年3月期 通期見通しについて

# 1. 2020年3月期 業績の見通し



(百万円, %)

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
売上高	529,609	—	560,000	—	30,391	5.7
営業利益	19,631	3.7	20,900	3.7	1,269	6.5
経常利益	19,876	3.8	21,000	3.8	1,124	5.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	11,681	2.2	12,200	2.2	519	4.4

## 2. 2020年3月期 業績の見通し【上期：下期：通期】 *SENKO*

(百万円, %)

	2020年3月期					
	上期		下期		通期	
	計画	利益率	計画	利益率	計画	利益率
売上高	276,000	—	284,000	—	560,000	—
営業利益	9,400	3.4	11,500	4.0	20,900	3.7
経常利益	9,400	3.4	11,600	4.1	21,000	3.8
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,600	2.0	6,600	2.3	12,200	2.2

前年同期比 304億円増収 5.7%増

● 売上拡大効果	+	209億円
● 料金改定	+	36億円
● 連結効果	+	113億円
● 自然災害影響	+	4億円



+ 363億円

● 既存物量増減	△	59億円
----------	---	------



△ 59億円

+ 304億円

## 4. 2020年3月期 事業・分野別売上高の見通し

( 億円, % )

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	前年同期比		前年同期比 内訳			
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A 他	物量 増減
流通ロジスティクス	2,083	2,178	95	4.5	112	19	61	△ 97
住宅物流	622	632	10	1.6	12	6		△ 8
ケミカル物流	738	791	53	7.1	41	10	19	△ 17
その他物流	310	315	5	1.7	20	1		△ 16
物流事業	3,754	3,916	163	4.3	185	36	80	△ 138
商事・貿易事業	1,423	1,524	101	7.1	16			85
その他事業	119	160	41	34.1	8		33	
合計	5,296	5,600	304	5.7	209	36	113	△ 54

※上記に含む国際関係売上

国際関係売上	287	394	108	37.6
売上高構成比 (%)	5.4	7.0		

※非連結法人も含む国際関係売上

国際関係売上	367	425	58	15.9
--------	-----	-----	----	------



## 前年同期比 経常利益 11.2億円 増益 5.7%増

● 売上拡大効果	+	25.4億円	⇒	+ 71.5億円
● 料金改定	+	35.9億円		
● コスト改善・生産性向上	+	5.3億円		
● 連結効果	+	3.0億円		
● 自然災害影響	+	1.9億円		

● 既存物量増減	△	22.4億円	⇒	△ 58.8億円
● 備車(含む作業賃)コスト増加	△	26.3億円		
● ペア影響	△	7.9億円		
● その他コスト増減	△	2.2億円		

● 営業外収支増減			⇒	△ 1.5億円
-----------	--	--	---	---------

● 経常利益			⇒	+ 11.2億円
--------	--	--	---	----------

## 6. 2020年3月期 セグメント別業績の見通し

(百万円, %)

売上高	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	前年同期比	
			増減額	増減率
物流事業	375,384	391,600	16,216	4.3
商事・貿易事業	142,294	152,400	10,106	7.1
その他事業	11,930	16,000	4,070	34.1
合計	529,609	560,000	30,391	5.7

(百万円, %)

営業利益	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
物流事業	16,210	4.3	17,250	4.4	1,040	6.4
商事・貿易事業	2,280	1.6	2,360	1.5	80	3.5
その他事業	1,679	14.1	1,820	11.4	141	8.4
調整額	△ 538	-	△ 530	-	8	-
連結財務諸表計上額	19,631	3.7	20,900	3.7	1,269	6.5

## 7. 2020年3月期に稼働予定の主な物流センター

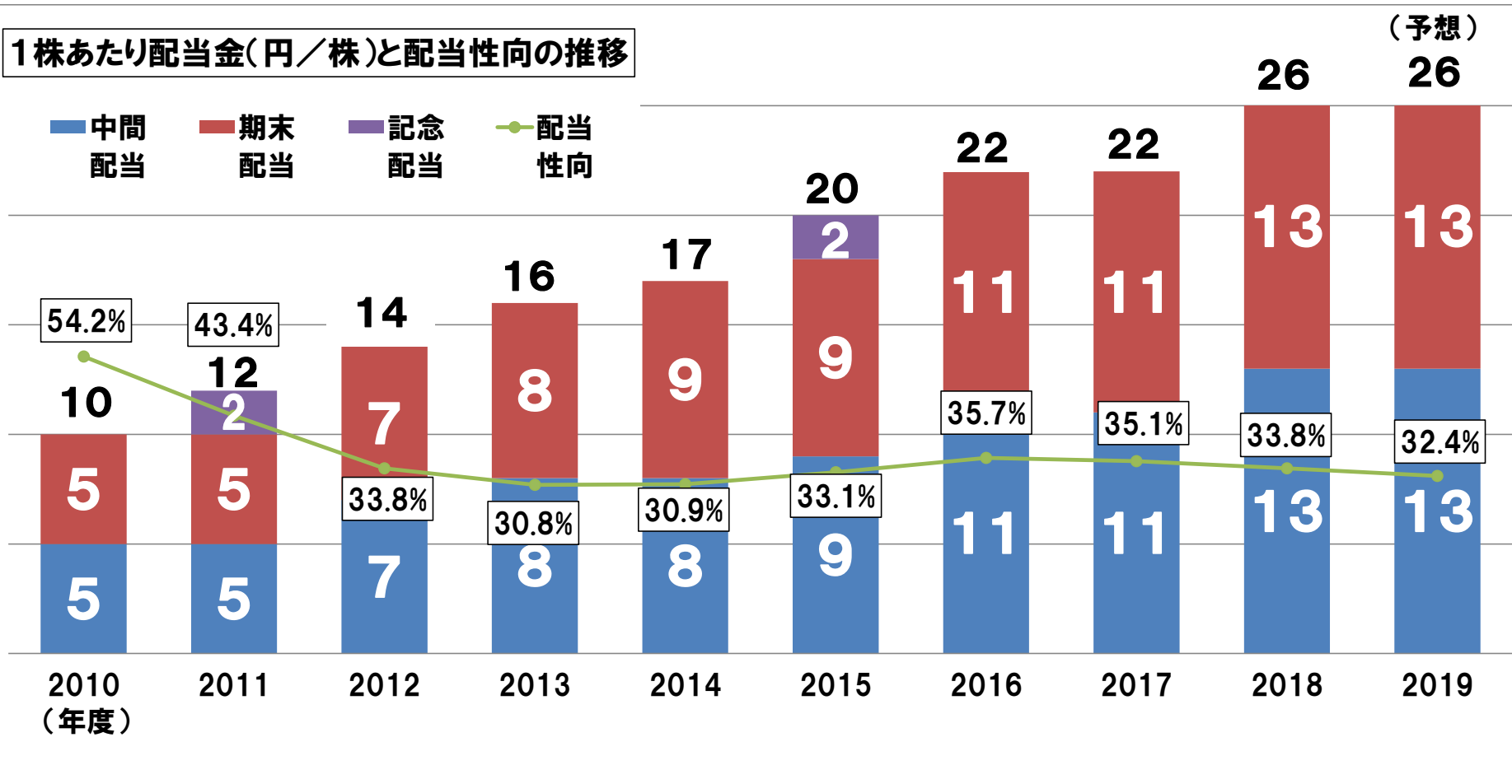
	名称	所在地	稼働年月	延床面積	事業会社
国内	1 印西ロジスティクスセンター ※	千葉県 印西市	2019年 5月	51,000 m <sup>2</sup> ( 15,400 坪)	センコー(株)
	2 関越支店 (冷凍・冷蔵) ※	埼玉県 川島町	2019年 5月	3,300 m <sup>2</sup> ( 1,000 坪)	(株)ランテック
	3 関西支店 (冷凍・冷蔵) ※	兵庫県 西宮市	2019年 7月	30,000 m <sup>2</sup> ( 9,100 坪)	(株)ランテック
	4 大分PDセンター	大分市	2019年 10月	16,200 m <sup>2</sup> ( 4,900 坪)	センコー(株)
	5 尼崎PDセンター (仮称) ※	兵庫県 尼崎市	2020年 2月	43,600 m <sup>2</sup> ( 13,200 坪)	センコー(株)
	6 門司支店 (冷凍・冷蔵)	北九州市	2020年 3月	13,800 m <sup>2</sup> ( 4,200 坪)	(株)ランテック
合計				157,900 m <sup>2</sup> ( 47,800 坪)	
海外	7 M-Senko物流センター (仮称)	タイ バンコク	2019年 9月	22,000 m <sup>2</sup> ( 6,700 坪)	M-Senko Logistics Co., Ltd.
合計				179,900 m <sup>2</sup> ( 54,500 坪)	

※賃借物件

# 8. 配当金について

1株あたり配当金(円/株)と配当性向の推移

■ 中間配当   
 ■ 期末配当   
 ■ 記念配当   
 ● 配当性向



# 第3部

2020年3月期  
主な事業活動について

# 1. 物流事業【国内】

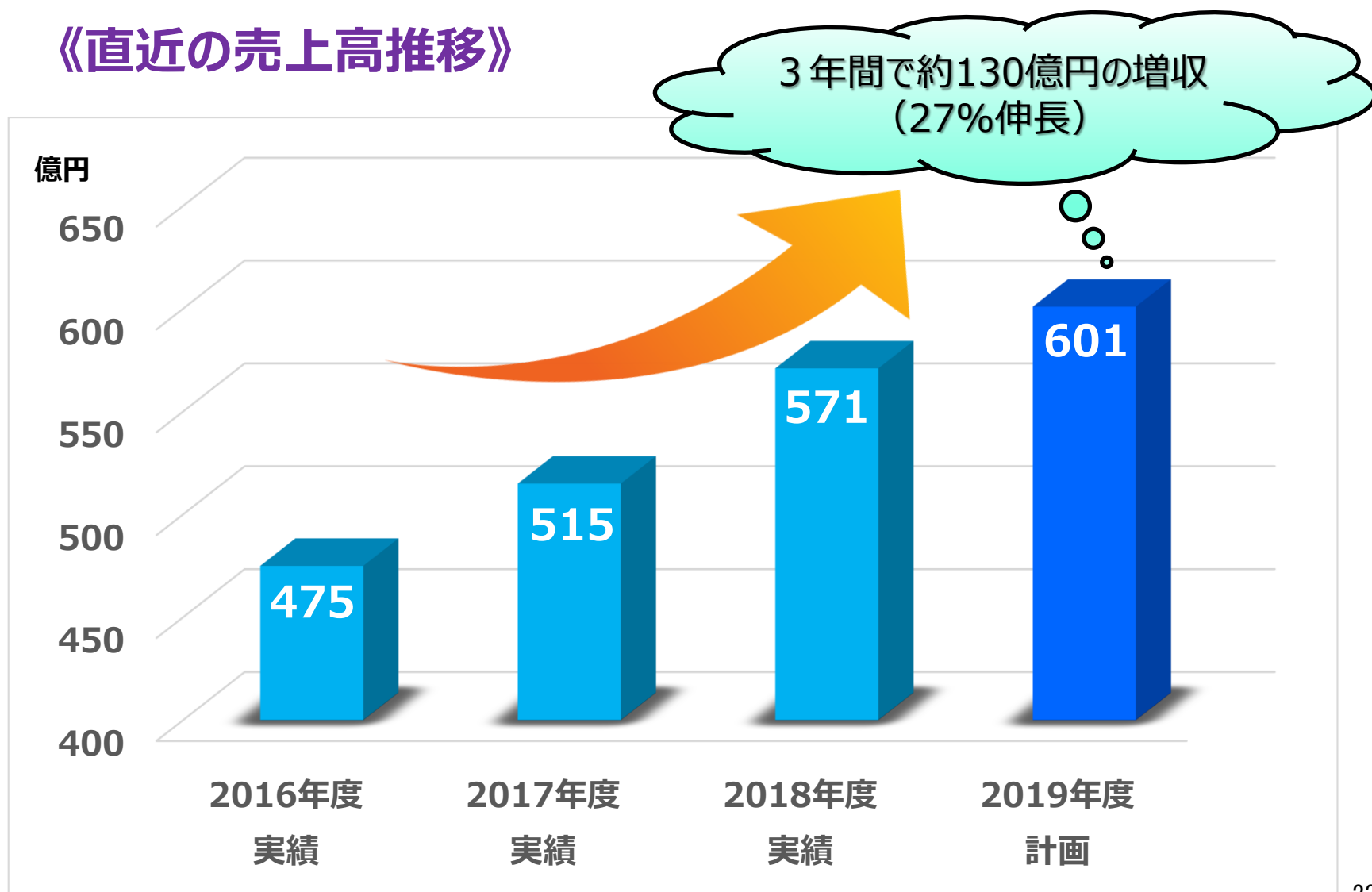
- ① 物流センターの開設
- ② 軽貨物運送事業の拡大
- ③ 海運事業の取り組み

## ① 主な物流センターの開設状況（直近2期）

倉庫用途	2018年度		2019年度	
	拠点数	万m <sup>2</sup>	拠点数	万m <sup>2</sup>
冷凍冷蔵	4	7.7	3	4.7
ファッション物流専用	1	3.1	1	5.1
流通ロジ関連他	4	7.5	2	6.0
合計	9	18.3	6	15.8

## ② 冷凍冷蔵物流の拡大

《直近の売上高推移》





## ② 冷凍冷蔵物流の拡大

### ● 2018年度 4拠点稼働

	稼働日	運営会社	名称	所在地	延床面積	外観
国内	2018年4月	(株)ランテック	大阪支店南港センター	大阪市	20,400m <sup>2</sup>	
	2018年4月		福岡支店センター(増床)	福岡県久山町	12,400m <sup>2</sup>	
	2018年8月		北埼玉支店センター (加須PDセンター 2号倉庫)	埼玉県加須市	27,200m <sup>2</sup>	
	2018年12月		京浜支店かわさきFAZセンター ※賃借物件	川崎市	17,500m <sup>2</sup>	

## ② 冷凍冷蔵物流の拡大

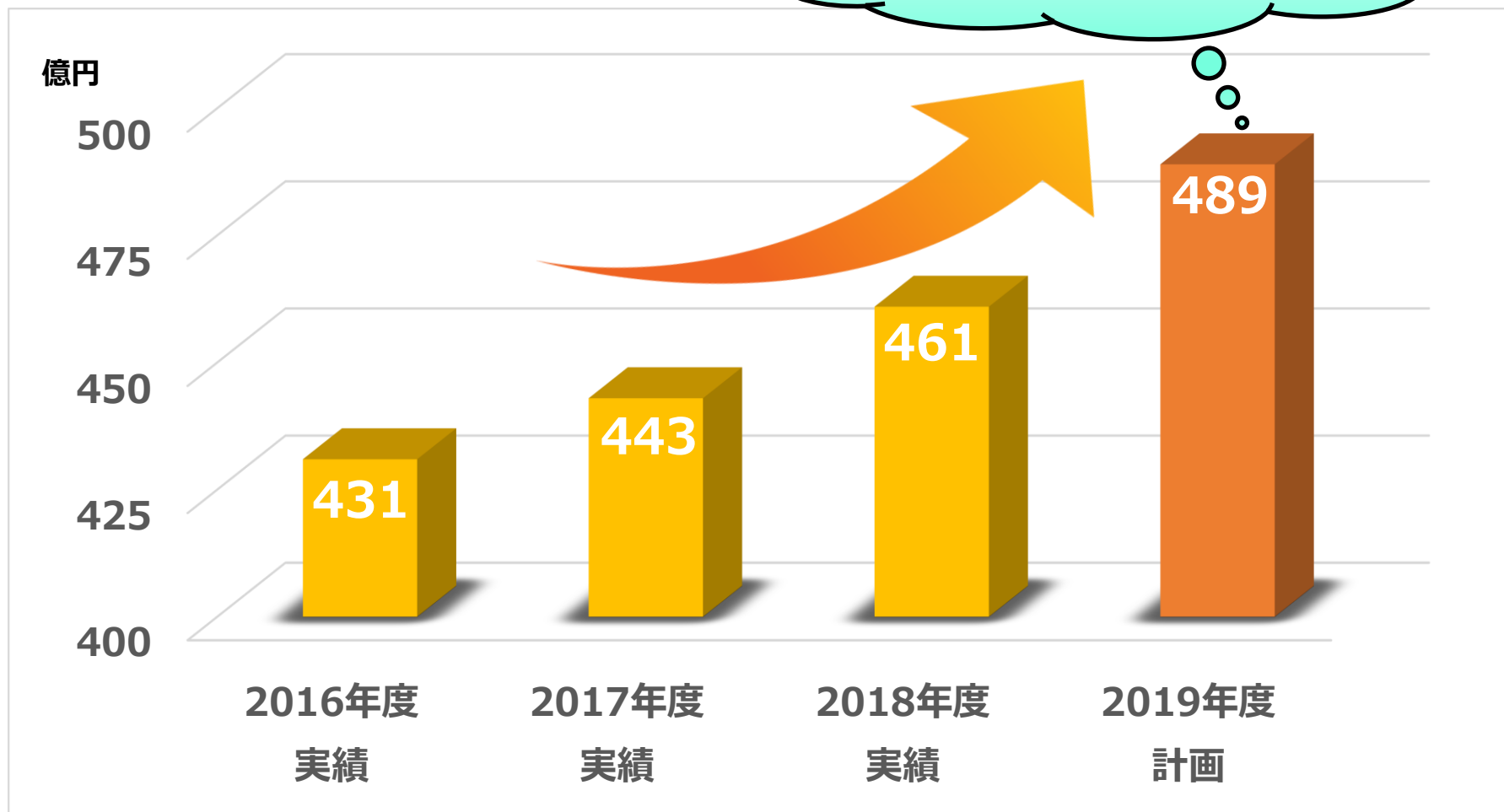
### ● 2019年度 3拠点稼働予定

	稼働日	運営会社	名称	所在地	延床面積	外観
国内	2019年4月	(株)ランテック	関越支店センター ※賃借物件	埼玉県 川島町	3,300m <sup>2</sup>	
	2019年7月		関西支店センター ※賃借物件	兵庫県 西宮市	30,000m <sup>2</sup>	
	2020年3月		門司支店センター	北九州市	13,800m <sup>2</sup>	

## ③ ファッション物流の拡大

《直近の売上高推移》

3年間で約60億円の増収  
(13%伸長)



## ③ ファッション物流の拡大

### ● 2018年5月稼働

## 流山ロジスティクスセンター

所在地:千葉県流山市

延床面積:30,600m<sup>2</sup>

※賃借物件



## ③ ファッション物流の拡大

### ● 2019年5月稼働

## 印西ロジスティクスセンター

所在地:千葉県印西市

延床面積:51,000m<sup>2</sup>

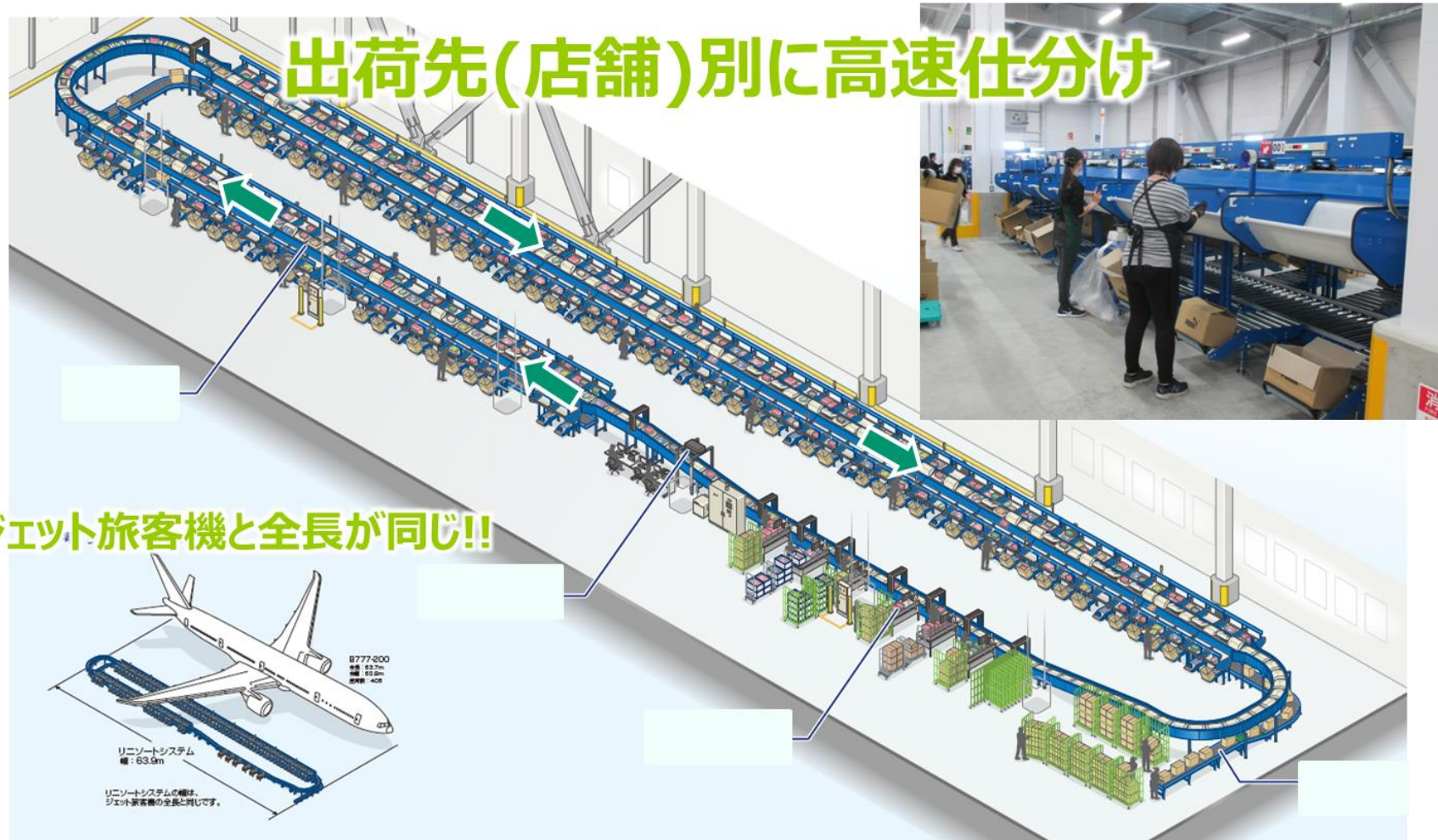
※賃借物件





## 《省人化・機械化設備の導入》

◎ピースソーター（2基、158シュート/基）



## 《省人化・機械化設備の導入》

◎ 無人搬送車（AGV）：30台

保管エリアと仕分エリア間の搬送業務の省人化





## 《省人化・機械化設備の導入》

### ◎ 倉庫内管理システム端末（スマートフォン）

従来のハンディと比べて操作性・視認性を向上





## ③ ファッション物流の拡大

### 【業務提携】

- 東京納品代行が、2019年4月、イタリアの国際フォワーディング企業「サヴィーノ デルベーネ」社と業務提携



### 《背景》

- ・ 2019年2月、日EU経済連携協定（EPA）が発効され、衣料品の輸入関税撤廃へ  
→ 欧州のファッションブランドの日本進出が加速

《狙い》 高級インポートファッションブランドの物流事業を拡大

## ④ 流通ロジスティクス関連物流の拡大

### ● 2019年度 2拠点稼働予定

	大分PDセンター	尼崎PDセンター
所在地	大分市	兵庫県尼崎市
稼働日	2019年10月	2020年3月
延床面積(m <sup>2</sup> )	16,200	43,600 ※賃借物件
取扱商品	医療品、原料、雑貨など	医薬・雑貨品、電子機器など
外観		

# 1. 物流事業 【国内】 軽貨物運送事業の拡大

SENKO

2018年度末

2021年度末

2022年度末

## ステップ1

2018年8月、センコーエアラインアマノが  
関東・関西エリアを中心に軽貨物運送事業開始  
(350台体制)



## ステップ2

センコーグループでの水平展開

車両台数  
3,000台体制へ

## ステップ3

特定エリアでのBtoC事業への参入

## ■ RORO船 新規定期航路計画の推進

- ・RORO船による海上輸送の強化・拡大をはかるため、九州／関西間に新しい定期航路を開設。



**年間40万トンを輸送**  
(1日1運行×2隻)

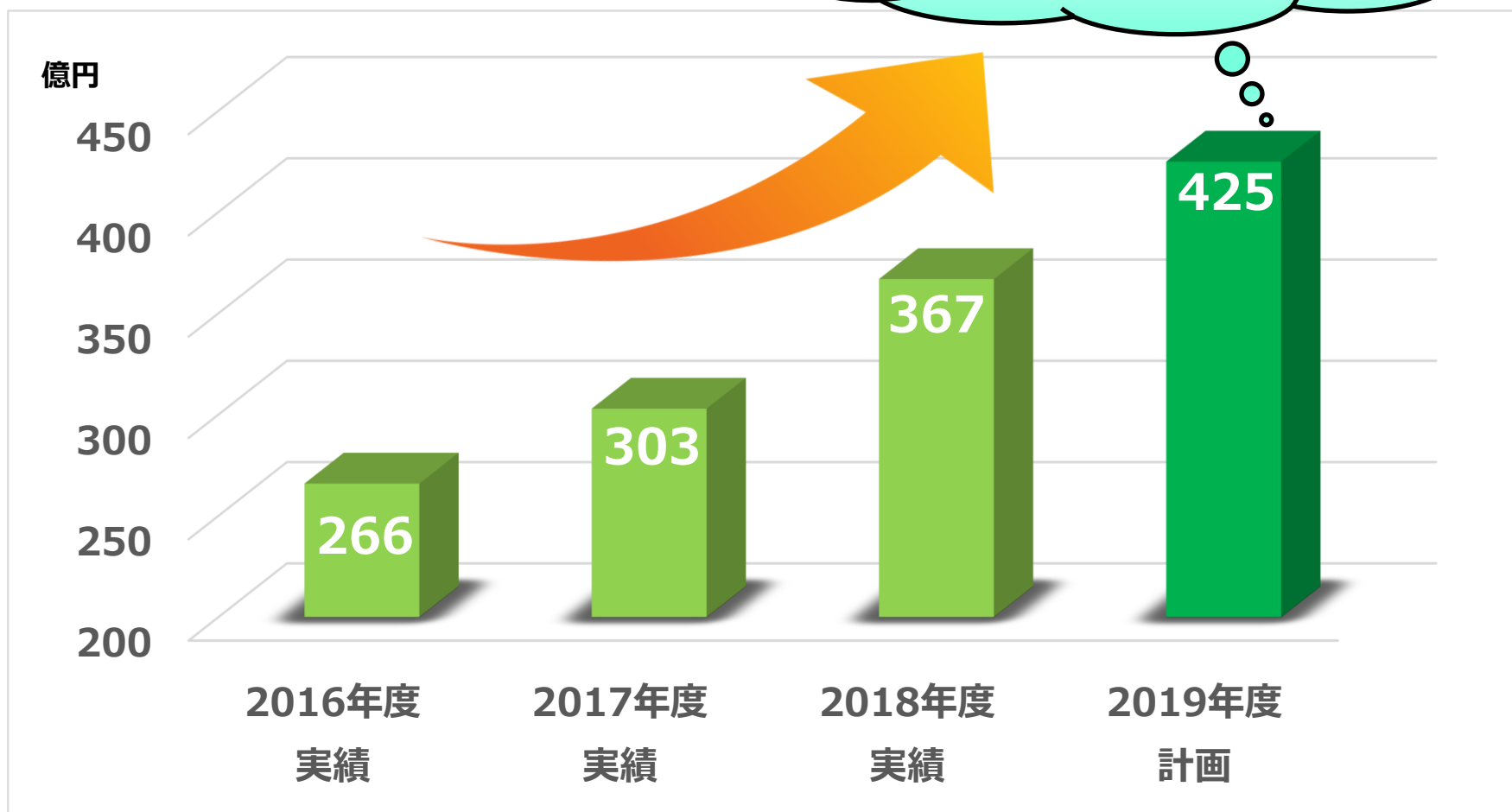


## 2. 海外事業

- ① 東アジアエリア
- ② アセアンエリア
- ③ 北米エリア

### ● 海外事業の拡大（非連結売上高を含む）

#### 《直近の売上高推移》



## 2. 海外事業 ① 東アジアエリア

### 中国

#### ◎ コールドチェーン物流の拡大

【北京物流センター】 2018年11月開設

所在地：中国／北京

延床面積：9,400m<sup>2</sup>(賃借)



#### ◎ 流通ロジ関連物流の拡大

【青浦物流センター】 2018年5月開設

所在地：中国／上海

延床面積：18,900m<sup>2</sup>(賃借)



### 韓国

#### ◎ 倉庫事業およびフォワーディング事業の拡大

【NH-SENKO物流センター】 2017年10月開設

所在地：韓国／慶尚南道昌原市

延床面積：23,400m<sup>2</sup>





## 2. 海外事業 ② アセアンエリア

### ◎ コールドチェーン物流の拡大

**【M-SENKO物流センター】** 2019年9月開設

所在地：タイ／バンコク

延床面積：22,000m<sup>2</sup>



### ◎ 国際フォワーディング事業の拡大

- ・シンガポールの「Skylift」、タイの「Best Global」の連携を強化し、日本・アジア・アセアン⇔北米・欧州のネットワークを強化



### ◎ 大手ディスカウントストアの海外出店対応

- ・シンガポール、タイの海外出店加速に伴い現地の保管・配送物流業務が拡大

**【Skylift新倉庫】** 2018年12月開設

所在地：シンガポール／ジャランブロー

延床面積：7,100m<sup>2</sup>(賃借)





### 米国

#### ◎ 自動車部品の保管・配送業務を拡大

##### 【ケンタッキー物流センター】

2011年7月開設、2016年8月増床  
所在地：米国／ケンタッキー  
延床面積：18,000m<sup>2</sup>



### メキシコ

#### ◎ フォワーディング事業（自動車のトラック輸送）の拡大

##### 【SENKO LOGISTICS MEXICO】



### 3. 商事・貿易事業

### 3. 商事・貿易事業【事業拡大に向けた取り組み①】*SENKO*



AST CORPORATION  
アスト株式会社

(家庭用紙製品の取扱商社)



① 2019年3月、大手量販店グループPB商品の取り扱い開始  
→ 物流事業グループ会社とのシナジー効果

② 2019年4月より、大手コンビニ専売品の取り扱い開始

## **SMILE CORP.** (食品、酒類、包材、雑貨などの取扱商社)

- 海外事業の拡大
  - ・中国、東南アジア市場で商品開発と販売を拡大  
→ 日系顧客だけでなく、海外で顧客を新規開拓

#### 《2019年度の主な取り組み》

##### ◎ RFIDラベルの生産・販売

- ・ 中国／上海、ベトナムでの生産・販売



##### ◎ 新規ビジネスの開始

- ・ 中国／上海で化粧品(日本製)のネット販売



## 4. その他事業

- ・ビジネスサポート事業の取り組み
- ・ライフサポート事業の取り組み

## 4. その他事業 【ビジネスサポート事業の取り組み】 *SENKO*

- 2020年2月、東京・潮見駅前が開業

### 「東京イーストサイド ホテル 権会(カイエ)」



**TOKYO EAST SIDE  
HOTEL KAIE**

ホテル 概要	
所在地	東京都江東区潮見2-8-11
アクセス	JR京葉線 潮見駅前 徒歩1分
建物構造	鉄骨造り 地上9階建て
敷地面積	5,600m <sup>2</sup>
延床面積	14,500m <sup>2</sup>
総客室数	226室
客室タイプ	ダブル、ツイン、ファミリー他
館内施設	レストラン、フィットネス他

## 4. その他事業 【ライフサポート事業の取り組み①】 *SENKO*

### ● 回転寿司チェーン「すし丸」運営会社「ウエノ商事」をグループ化



◎「すし丸」・・・中国・四国エリアのグルメ系回転寿司チェーンとして、岡山県で12店舗、広島県で13店舗、徳島県で1店舗を展開



社名	ウエノ商事株式会社
本社	岡山県倉敷市
代表者	大森 康晴
資本金	10百万円
設立	1975年3月
事業内容	回転寿司「すし丸」、とんかつ店(「かつや」F C)経営
従業員数	正社員41名、パートアルバイト609名

# 4. その他事業 【ライフサポート事業の取り組み②】 **SENKO**

## 《2019年度以降の店舗開設計画 その1》

グループ会社	施策	外観(イメージ)	事業所・店舗数		
			2019年3月末	2019年～ 2021年 増店計画数	2022年3月末
けいはんなヘルパーステーション	住宅型老人ホームなどの運営	 イメージパース(奈良県生駒市)	5	4	9
ビーナス	リハビリ・ディサービス店舗の運営	 ビーナスプラス	56	26	82



# 4. その他事業 【ライフサポート事業の取り組み②】 **SENKO**

## 《2019年度以降の店舗開設計画 その2》

グループ会社	施策	外観(イメージ)	事業所・店舗数		
			2019年3月末	2019年～ 2021年 増店計画数	2022年3月末
ブルーアース ジャパン	フィットネスジムの運営	 <p>MY-BODY</p>	16	15	31
ウエノ商事	回転寿司チェーンの運営	 <p>すし丸</p>	26	6	32

## 5. 環境・働き方改革の取り組み

① 「モーダルシフト」の推進

② 働き方改革の取り組み

## ① 「モーダルシフト」の推進

### ◎ 「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受賞

- ・2018年11月にセンコーとランテックは、日本物流団体連合会からモーダルシフトを積極的に推進した事業者として評価。

### 《センコーのモーダルシフト化率》

**70% (2019年3月末時点)**

※輸送距離500km超の鉄道・船舶を使用した輸送重量の割合



### ① 「モーダルシフト」の推進

◎ 災害時の代行輸送に貢献／JR貨物様から感謝状(2018年12月)

・2018年7月の西日本豪雨災害において、

JR山陽線が長期寸断時、グループの海運会社2社の船舶で

鉄道コンテナ約3,700基を代行輸送を実施。

# 5. 環境・働き方改革の取り組み

## ② 働き方改革の取り組み

### ◎ 「働きやすい職場づくり」

- ・託児所の設置→グループで6カ所



### ◎ 多様な働き方推進

- ・外国人の受け入れ
- ・高齢者の活用
- ・サテライトオフィスの設置
- ・在宅勤務
- ・短時間勤務社員



### ◎ AI, ロボティクスの活用

- ・定型事務業務の自動化
  - ※ RPA、チャットボット
- ・無人フォークリフト、無人搬送車ほか



## 6. 中期経営5カ年計画の進捗状況

# 6. 中期経営5ヵ年計画の進捗状況

## 【主要な中期経営目標数値の進捗状況】

単位：億円

		2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2022年3月期 目標	
規 模	売上高	物流事業	3,478	3,754	3,916	4,550
		商事・貿易事業	1,393	1,423	1,524	1,850
		その他事業	51	119	160	600
			4,921	5,296	5,600	7,000
	営業利益	171	196	209	280	
	経常利益	173	199	210	280	
	生産体制	物流センター保管面積	342万㎡	366万㎡	384万㎡	400万㎡
自社車両台数		5,073台	5,525台	5,840台	6,700台	

# Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

お問い合わせ先

 **センコーグループホールディングス株式会社**

**広報室**

〒531-6114

大阪市北区大淀中1-1-30-1400

(梅田スカイビル タワーウエスト14F)

TEL: 06-6440-5156

FAX: 06-6440-5148

URL: <http://www.senkogrouphd.co.jp/>



## ①設備投資額

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
連 結	37,625	21,227	16,232

※設備保証金含む

## ■設備投資額の内訳

(単位：百万円)

	2020年3月期 設備投資額 (計画)				
	車両関係	荷役機器・ その他生産設備	大型設備	非生産設備 (E D P 関連他)	合計
連 結	5,085	6,071	3,274	1,802	16,232

## ②減価償却費

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
連 結	12,439	14,334	15,387

グループ事業所数	6 3 1カ所
グループ車両台数	5,525台（ヘッドのみ）
	6,412台（トレーラー込み）
所有船舶(社船)数	34隻
支配下船舶数 (社船を含む)	69隻
総保管面積 (雑倉庫等を含む)	366万m <sup>2</sup>
グループ従業員数 (パート・アルバイト等を除く)	17,081名